

古江地区

地域版まちづくり総合戦略

【古江地区の特徴】

- ・昭和30年に松江市に合併。
- ・市の西北に位置し、宍道湖の北端にあり、東は佐陀川を隔て、北は島根半島の分水嶺を境界として、西は秋鹿地域に接続。
- ・面積は19.3km²で、うち田畑が5.4km²、山林が9.2km²、その他。
- ・7町内、7団地自治会。

目標

- ・豊かな心、愛郷の心を育む
- ・ともに支えあう地域づくり

課題

- ・近年少子高齢化、核家族化、地域のつながりの希薄化が進行しつつある。
- ・地域のこと（文化、歴史、行事など）を知っている住民が少なくなっている。

ふるさとを愛する心、豊かな心を育むまちづくり

- (1) 学校と地域との連携によるふるさと教育の推進
- (2) 古江のふる里をみなおす歴史・文化の看板設置
- (3) あいさつ運動の取り組み
- (4) 差別のない人権尊重の取り組み
- (5) 青少年を健やかに育てる活動の取り組み

豊かな自然環境を大切にするまちづくり

- (1) きれいなまちづくりの取り組み
 - ・クリーンまつえの参加（春、秋）
 - ・清掃ボランティアの呼びかけ（毎月第2日曜日）
 - ・花と緑のロードづくり
- (2) 宍道湖再生の取り組み
- (3) ごみの減量化とリサイクルの推進および省エネルギーの取り組み

だれもが参加する生涯スポーツによる健康のまちづくり

- (1) スポーツ・体育活動による健康づくりの推進
- (2) 子どもも参加する地域におけるスポーツ活動の推進
- (3) だれもが参加できるニュースポーツの普及

小地域を大切に、共に支えあう福祉のまちづくり

- (1) 高齢者支援
 - ・見守りネットワーク活動推進
 - ・高齢者の自主的な活動支援
- (2) 障がい者支援
 - ・ふるさとあったかスクラム事業
 - ・ふるえ根っここのつどい事業
 - ・サポーター養成
- (3) 防犯・防災
 - ・自主防災体制整備
 - ・防犯パトロールの実施

住民参加のまちづくり

- (1) 自治会・町内会、各機関団体との連携強化による地域振興と活性化の取り組み
- (2) 隣保組織等小地域の機能強化の取り組み
- (3) 地域における諸課題を話し合う「古江地区まちづくり会議」の開催

